



独自のアイデアで ICタグ活用

『急がば回れ』 段階を踏んだICタグ導入で確実な成果

西日本最大級の宝石のお祭り「いちごジュエリーフェスティバル」を開催する株式会社丸善は同展示会で大きな成果を収めているが、大規模な展示会の裏では最新のICタグシステムが展示会を支えていた。しかし、ICタグも魔法の杖ではなく導入当初は運用上の問題点も見受けられた。問題点をクリアしたのは社員全員の意思統一と、積極的な意見交換から生まれたアイデアに基づく徹底した業務改善だった。

株式会社丸善は「いちごジュエリーフェスティバル」を毎年春と秋の年二回開催し、毎回三千人を超えるエンドユーザーと総額100億円にも上るジュエリーの数々で毎回活況を呈する。会期中は約4,500個の商品が行き来し商品の移動伝票発行作業だけでも5人がかりで行わざるを得ないほどの盛況振り。うれしい反面、早急に業務効率化をはかる必要があった。



大阪市中央区にある株式会社丸善本社

同社が対策の切り札として導入を決めたのがICタグシステム。商品情報を一括読み取りできるため、従来のバーコードによる作業に比べ10倍以上のスピードアップが実現。事実、5人で行っていた伝票発行作業が3人に軽減する事が出来たうえ、お客様を待たせる時間が大幅に短縮できたのである。

順調な運用への道程

しかし作業時間は大幅に短縮できたもののシステム導入当初は、ICタグが入替わった商品が移動するなど運用上の問題点があった。同社は問題解決のため、部門ごとにICタグ推進委員を決め導入の目的やメリットを社員全員に徹底するとともに、問題点や疑問点を徹底的に洗い出し、ICタグ運用に向けた宝石ケースのアイデア等を話し合い、タグの回



活況を呈する「第16回いちごジュエリーフェスティバル」

取方法も含めて改善を重ねたうえで、順調な運用を実現した。

段階を踏んだ導入を

ICタグ導入を推進してきた同社営業部林田次長は、「棚卸・移動処理・委託処理と段階を踏んで導入を進めてきたことで社内のコンセンサスも取れ、全対象業務での運用もスムーズに始められた。」と話し、これから導入を検討する企業に対して「ICタグ導入は、一度に全ての処理を行うのではなく、段階を踏んで導入するのがポイント」とアドバイスを送る。



(左)丸善で使われている宝石ケースの一例、普通の状態では値札が見えずスッキリとした印象 (右)台座がスポンジ状になっており切れ込みの間からICタグ内蔵の値札を下に落としてある

様々な業種・分野で普及が進むICタグも「魔法の杖」ではない。当然のことながら得手不得手がある。最新システムだからと過信せずICタグの導入メリットを見極め、あせらずに自分達にあった運用方法・手順を模索したことが、同社が短期間でシステムの導入成果をあげ、導入効果を最大限に導き出した理由といえるだろう。



◀ 宝石ケース内の小型ICタグをアンテナで一括読み込みしているところ

お問い合わせは

PEC フェニックス電子株式会社

本社営業部 TEL:075-221-5855 FAX:075-221-5377

東京営業部 TEL:03-3668-0201 FAX:03-3668-0203

中部営業所 TEL:0568-29-2145 FAX:0568-29-2146

URL <http://www.phoenix-denshi.co.jp/>